

トリュフとは？

難しくいいますと、^{ちかせいきん}地下生菌の^{しじったい}子実体 といわれます。

要するに、キノコ的一种なのですが、一般的な地上に生えるタイプではなく、土の中で生育していくキノコなので、**地下生菌** と呼ばれます。

世界中いたる所に、昔から生えているキノコで、一年性植物です。品種によって希少性が大きく異なる面白いキノコです。

日本では、土の中のキノコを採る風習がなく、あまり発見されませんでした。最近になって、日本の山の中にもたくさんいることがわかり始めてます。

では、**子実体** とは何ぞやなのですが、

親キノコが子供のキノコを生み出すのに、**胞子**を出すのですが、

この地下に埋もれたキノコ達は、自分の体の中に、胞子を抱え込みます。

この**胞子が、マーブルの模様** となって、体内に現れるのですが、

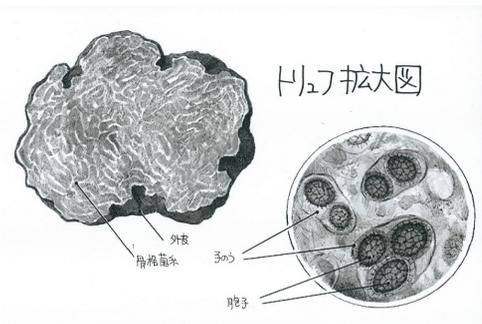
地下にいるキノコ達は、野生動物に掘り起こして食べてもらわないと、子供たちを放出してもらえません。野生動物が食べた糞の中に、胞子たちは消化されずに残り、違う場所で木の根に派生し、新たに成長をとげていきます。まさに、香りを出すことで、野生動物に発見されやすくなり、そこで食されることで、結果的に子孫を残していく。

地下生菌と呼ばれるキノコ達のすごい**ライフサイクルの恩恵** が

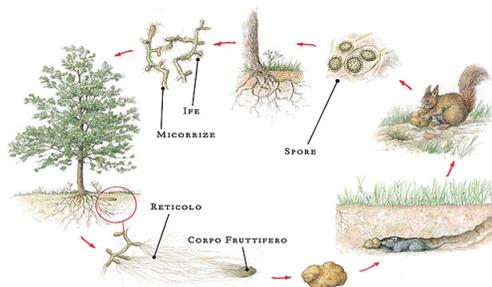
トリュフの香り となります。

ヨーロッパでは、長年研究され、やっと日本にも浸透し始めたトリュフ。

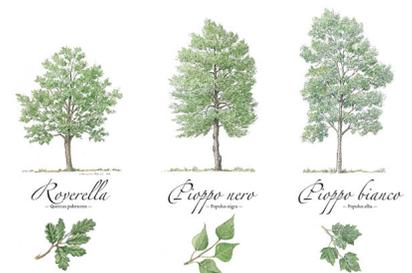
ぜひとも **地下生菌の子実体** をよろしく願いいたします。



トリュフの拡大図



トリュフのライフサイクル



トリュフが寄生する樹木

トリュフの年間表

フレッシュ・トリュフ収穫期目安表

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
白トリュフ	■										■	■
黒トリュフ	■	■										■
夏トリュフ					■	■	■	■				
秋トリュフ									■	■	■	

※例年実績からの収穫予測のため、入荷や品質の保証をする表ではございません。

白トリュフ
Tuber magnatum Pico



Bianco pregiato
— Tuber Magnatum Pico —

黒トリュフ
Tuber melanosporum Vitt.



Nero pregiato
— Tuber Melanosporum Vitt. —

夏トリュフ
Tuber aestivum Vitt.



Scorzzone
— Tuber Aestivum Vitt. —



Marzuolo
— Tuber Borchii Vitt. —



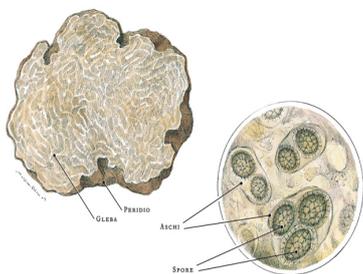
秋トリュフ
Tuber uncinatum Chatin



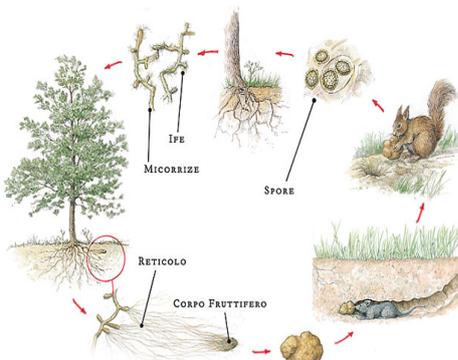
Invernale
— Tuber Brumale Vitt. —



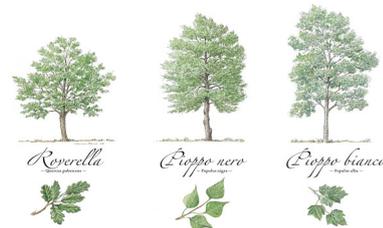
Nero liscio
— Tuber Macrosporum Vitt. —



トリュフの実体
地下生菌の子実体



トリュフのライフサイクル



トリュフの派生する木

フレッシュトリュフの保管方法



- ① 弊社のトリュフは青紙と呼ばれるお魚等を巻く紙で巻かれ出荷されます。



- ② タッパーに生米を入れそのまま保管される方、紙に巻く方、それぞれいらっしゃいます。



- ③ 生米の量はこれくらい。トリュフの香りを米に移して、リゾットにされるそうです。



- ④ 最近イタリアでは、木炭と一緒に保管するのが流行です。



- ⑤ トリュフを紙に巻くか？



- ⑥ 木炭を紙に巻くか？はトリュフを巻かれる方が大半です。

～ ポイント ～

- ・ とにかく、キノコのなので湿気が弱点。
- ・ タッパーに入れて、冷蔵庫の奥で風が当たらない様、保管し、1週間に一度程度、巻いている紙を取り換えて下さい。その場合、2週間程度は持つと言われております。。
- ・ ドライブラシの土付きですので、サマー、秋、黒トリュフの水洗いは使用直前にお願いいたします。
- ・ 白トリュフはドライでのご使用となりますので、水洗いは避けて下さい。